

高校生は取扱説明書を読むのか(調査結果)

電子辞書の使い方を指導する前には、生徒の実態調査(アンケート)をすることが大切です。生徒に合った指導をするためです。そこで、本校の高校2年生186名のうち、私が授業を担当した91名の生徒を対象に実施したアンケート結果を紹介します。アンケートは、全8項目で行いました。その中から、まず次の4項目についてご報告します。高校生の実態について考えたり、先生方がアンケートを実施されたりするときの参考にしていただけたら幸いです。

- (1) 自分用の「電子辞書」を持っていますか。
- (2) その電子辞書のメーカーは何ですか。
- (3) 使い始める時に取扱説明書は読みましたか。
- (4) 電子辞書と紙辞書のどちらをよく使いますか

【結果】

(1) 自分用の「電子辞書」を持っていますか。【全91名】

	人数	割合
はい	88名 / 91	97%
いいえ	3名 / 91	3%

電子辞書を持っている生徒が91名中の88名(97%)でした。本校では入学時に、国語科から電子辞書の購入を「推薦」されています。義務ではないので入学時には電子辞書を購入していない生徒もありますが、高2になるとほとんどの生徒が所持していることが分かりました。

続いて、電子辞書を持っている生徒(88名)に、そのメーカー名を尋ねてみました。結果は、次のようになりました。(メーカーごとに機能が異なるので、一括購入をさせていない場合は、指導前にこの調査が必要となります。)

(2) その電子辞書のメーカーは何ですか。【全88名】

	人数	割合
カシオ	82名 / 88	93%
シャープ	5名 / 88	6%
その他	1名 / 88	1%

ほとんどの生徒(93%)がカシオ製で、シャープ製の電子辞書を持っている生徒は若干名でした。カシオ製品を持っている生徒が多いため、使い方を指導するときは、こちらを中心に指導しました。

次に、機能や活用法をまとめた「取扱説明書」は、どのくらいの生徒に読まれているのか調べてみました。電子辞書は、紙辞書と違って様々な機能を有しているので、この調査も必要になります。結果をご覧ください。

(3) 使い始める時に取扱説明書は読みましたか。【全88名】

	人数	割合
読み込んだ	1名 / 88	1%
パラパラと見た	35名 / 88	40%
読んでいない	51名 / 88	58%

「使い始めるときに取扱説明書を読み込んだ」生徒は、電子辞書を持っていた生徒(88名)のなんと1%(1名)。「読んでいない」生徒が半数以上(58%)でした。おもしろかったのは、「取扱説明書をパラパラと見た」生徒(35名)の大半は女子生徒であり(77%)、男子生徒は23%のみでした。取扱説明書を読むかどうかは、男女の特性や性格も関係しているのかもしれませんが、指導するときは、このようなことにも配慮が必要でしょう。

このように取扱説明書を活用している高校生は少ないという結果からは、次のような提言が可能になるかと思えます。

- ①取扱説明書だけでなく、シンプルな「機能一覧」を同封する。

②もしくは、電子辞書に、使い方マニュアルを搭載する。

最後に、「電子辞書と紙辞書のうち、どちらをよく使うか」尋ねた結果をご紹介します。予想通りの結果となりました。

【(4) 電子辞書と紙辞書のどちらをよく使いますか。【全88名】】

	人数	割合
電子辞書	76名 / 88	86%
紙辞書	2名 / 88	2%
同じくらい	9名 / 88	10%

ほとんどの生徒(86%)が、電子辞書の方をよく使っていました。紙辞書を選んだ生徒は2%(2名)です。この結果から、「電子辞書と紙辞書を使い分ける指導」も必要と言えるかもしれません。電子辞書活用アンケート(2)でご報告するように、それぞれの辞書には、異なるメリットがあるからです。

電子辞書活用アンケート(2)では、生徒が「いつ」「どのような用途で」電子辞書を使うのか、先生方が知らない生徒の実際の使い方に迫っていきます。